

概要：パナメーラ4 E-ハイブリッドとホイールベースを延長したパナメーラ
エグゼクティブ

独自のスポーツカー：効率性と豪華さを備えた パナメーラのダイナミクス

ポルシェは、ニューパナメーラのモデルラインの拡張を続けます。パナメーラ4 E-ハイブリッドは918スパイダー スーパースポーツカーのダイナミクスから恩恵を受けます。150mm延長されたホイールベースを備えるエグゼクティブモデルは、モデルラインのトップエンドでボディと装備を強化します。ショーファードリブンのサルーンとして設計されたこのポルシェには、4WDバージョンのパナメーラ4エグゼクティブ（243kW/330PS）、パナメーラ4 E-ハイブリッドエグゼクティブ（340kW/462PS）、パナメーラ4Sエグゼクティブ（324kW/440PS）、およびパナメーラターボエグゼクティブ（404kW/550PS）が用意されています。

パナメーラ4 E-ハイブリッドは、性能志向のハイブリッド駆動と持続可能なE-モビリティ、そしてダイナミックなスポーツ性と贅沢な走行快適性の魅力的な組み合わせを提供します。

ガソリンと電気による2つのパワートレインを備えたグランツーリスモは、独自の方法で「バランス」を再定義します。つまり一方では、新しい2.9リッターV型6気筒ツインターボエンジンと電気モーターの組み合わせが、最高出力340kW（426PS）と、静止状態から直ちに使用可能な911ターボに匹敵する700N・mの最大トルクを発生します。これは素晴らしいドライビングプレジャーを保証するとともにわずか4.6秒の0 - 100km/h加速タイム（ブースト機能を使用）を可能にします。他方では、純粋な電気駆動のみによる航続距離は約50kmに達し、平均燃費（NEDC）はわずか2.5リッター/100kmに低減されます。

パナメーラ エグゼクティブ：後席乗員のための最上空間

ニューパナメーラ エグゼクティブモデルは、ロングホイールベースを備えたグランツーリスモのラグジュアリーバージョンで、ダイナミックな性能と抜群の快適性を兼ね備えます。このロングバージョンによって、ポルシェは後席に最大のスペースを必要とする顧客のニーズを満たします。4つの全モデルが150mm延長された同じボディを共有し、特に後席乗員にメリットをもたらします。追加のスペースによってレッグルームが拡張され、快適性をいっそう高めます。さらに、エグゼクティブ全モデルの装備が強化されています。標準装備には、アダプティブエアサスペンション、パノラミックルーフシステム、リアのコンフォートヘッドレスト付電動コンフォートシート、フロントとリアのシートヒーター、およびリアのロールアップサンブラインドなどが含まれます。パナメーラ4Sエグゼクティブとパナメーラターボエグゼクティブにはより広範な標準装備が備わります。

モデルライン：ラグジュアリーサルーンのスポートカー

モデルラインに関しては、2016年の夏に完全に再開発された第2世代のパナメーラが導入されました。最初にパナメーラ4S（324kW/440PS）、パナメーラ4Sディーゼル（310kW/422PS）、パナメーラターボ（404kW/550PS）の3台の4WDがデビューしました。その後、6気筒ターボエンジン（243kW/330PS）を搭載したパナメーラおよびパナメーラ4の標準モデルとともに、パナメーラ4 E-ハイブリッド、エグゼクティブモデルが続きました。これらの追加によって、ポルシェパナメーラのモデルラインには、現在330PSから550PSまでの10モデルが揃います。